



「いのち輝くマグネット神奈川」の実現に向けて

「かながわグランドデザイン」概要版



ごあいさつ

平成23年3月11日に発生し、わが国に未曾有の被害をもたらした東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故は、本県の県民生活や経済活動にも大きな影響を及ぼしました。

県は、大震災の教訓を活かした防災対策の強化やエネルギー政策の見直しなどの喫緊の課題に加え、確実に到来する超高齢社会への備えなどの課題にも的確に対応していくため、県民、NPO、企業、団体、市町村などの皆様から幅広くご意見を伺いながら、県の総合計画「かながわグランドデザイン」を新たに策定しました。

この冊子は、「かながわグランドデザイン」の「基本構想」及び「実施計画」の内容を要約した概要版です。

皆様と計画の理念や目的を共有しながら、神奈川の総力を結集し、「行ってみたい、住んでみたい、人を引きつける魅力あふれる神奈川」、「いのちが輝き、誰もが元気で長生きできる神奈川」を創りあげてまいります。

今後とも、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成24年5月



神奈川県知事 西谷 敏行

実施計画

「基本理念」や「神奈川の将来像」の達成に向けて、2012(平成24)～2014(平成26)年度の3年間に県が取り組む政策を示しています。

プロジェクト編

プロジェクトは、喫緊の課題に対応するため、先進性や発展性を持った重点施策を分野横断的にとりまとめ、「いのち輝くマグネット神奈川」を実現していくための具体的な取組みとねらい、工程などを示したものです。

政策のまとめりごとに**6つの柱**を立て、**27のプロジェクト**を位置づけました。

柱Ⅰ、Ⅱは、新たに喫緊の対応を図ることとしたエネルギーや災害関連のプロジェクト、柱Ⅲ、Ⅳは、一人ひとりの人に着目したプロジェクト、柱Ⅴ、Ⅵは、地域や県土全体に関わるプロジェクトをまとめています。

柱Ⅰ 神奈川からのエネルギー政策の転換

柱Ⅱ 災害に強く安全で安心してらせるまちづくり

柱Ⅲ いのちが輝き誰もが自分らしくらせる社会づくり

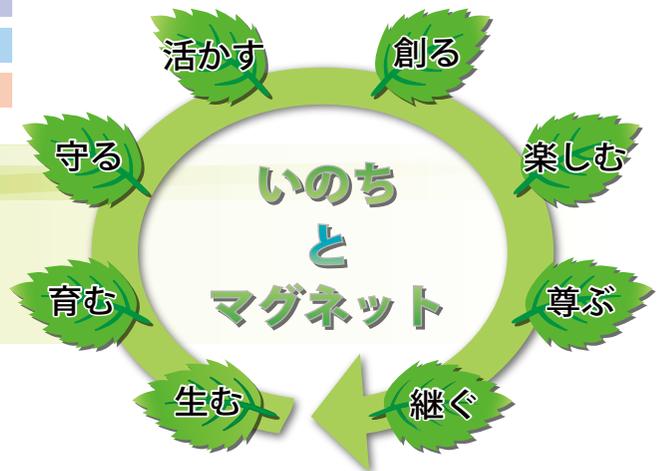
柱Ⅳ 次世代を担う心豊かな人づくり

柱Ⅴ 人を引きつける魅力ある地域づくり

柱Ⅵ 神奈川のポテンシャルを生かした活力創出

「いのち」と「マグネット」の視点

ライフステージをイメージした8つのキーワードを用いて、「いのち」と「マグネット」の視点から、プロジェクトの柱ごとに政策のねらいや目的をわかりやすく示しました。



プロジェクト編の具体的な内容は見開きページへ

主要施策・計画推進編

主要施策

主要施策は、プロジェクトで取り組むものも含め、県が着実に実施していく施策・事業を体系化することにより、県の政策の全体像を総合的・包括的に示したものです。

「基本構想」の「政策の基本方向」に沿って、7つの政策分野別に体系化した**政策分野別の体系**と、施策・事業のうち各地域で展開するものを5つの地域政策圏別に体系化した**地域別の体系**を示しています。

政策分野別の体系

エネルギー・環境	教育・子育て
安全・安心	県民生活
産業・労働	県土・まちづくり
健康・福祉	

各地域で展開する施策・事業

地域別の体系

5つの地域政策圏



計画推進

計画を着実に推進し、進行管理を行っていくための「政策のマネジメント・サイクル」のしくみやプロジェクトの達成度を測る数値目標などを示しています。

プロジェクトの評価に当たっては、様々な角度から達成状況を検証していくため、プロジェクトごとに複数の数値目標を設定しています。

基本構想

目標年次とした2025(平成37)年を展望して、県民の皆さんへの新たなメッセージを「基本目標」として掲げ、神奈川がめざす将来像を示しています。

基本目標

基本理念

「いのち輝くマグネット神奈川」を実現する

「いのち輝くマグネット神奈川」とは

県民が活着ている喜びを実感し、生まれてよかった、長生きしてよかったと思えること、人やものを引きつけるマグネットの力を持ち、住んでみたい、何度も訪れてみたいと思う魅力にあふれているということです。

県民一人ひとりのいのちを輝かせるとともに、人やものを引きつける魅力を持った神奈川の実現をめざしていきます。

神奈川の将来像

行ってみたい、住んでみたい、人を引きつける魅力あふれる神奈川

地域の魅力を最大限に生かし、人々が何度も訪れてみたい、住んでみたいと思うような、人を引きつける神奈川づくりを進めます。

いのちが輝き、誰もが元気で長生きできる神奈川

災害や犯罪から県民のいのちを守るとともに、病気にならない取組みを進め、県民のいのちを輝かせ、誰もが元気で長生きできる神奈川づくりを進めます。

県民総力戦で創る神奈川

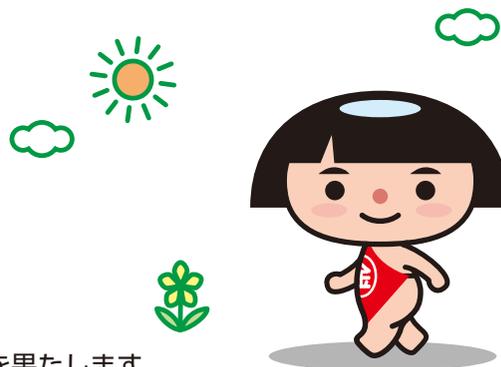
県民、NPO、企業、団体、市町村などと情報や目的を共有しながら、神奈川の総力を結集し、新たな政策とともに創り、それを全国の先駆けとなる「神奈川モデル」として発信します。

政策の基本方向

政策展開の基本的視点

「基本目標」の実現に向けて、県の政策展開に当たって基本に据える視点をまとめています。

- 1 神奈川からエネルギー政策を転換します
- 2 環境と共生し持続可能な社会づくりを進めます
- 3 暮らしの安全・安心を確保します
- 4 地域に活力を生み出します
- 5 少子化、高齢化への対応を進めます
- 6 豊かさの質的充実を支援します
- 7 県民との協働・連携を強化します
- 8 地域主権を実現し、広域連携の強化など広域自治体としての責任を果たします



実施計画 プロジェクト編 プロジェクト

柱Ⅰ 神奈川からのエネルギー政策の転換

太陽光発電などの導入やエネルギー関連産業の集積などを促進し、地域において将来にわたり安全・安心なエネルギーを安定的に確保する神奈川をめざします。

いのちとマグネットの視点

- エネルギーの地産地消の新しいモデルを“生む”
- 子どもたちのエネルギーを大切にする心を“育む”
- 電力供給不足や災害から県民の暮らしを“守る”
- エネルギー関連産業を集積し、新しい技術や雇用を“創る”
- 持続可能なエネルギーを次世代に“継ぐ”



プロジェクト

1 かながわスマートエネルギー構想の推進

- 太陽光発電など再生可能エネルギー等の導入促進
- 省エネによる電力需要の縮減
- EVの活用など蓄エネによる電力需要の平準化
- エコタウンの整備推進

分散型エネルギー体系の構築

2 エネルギー関連産業の集積促進

- エネルギー関連企業の誘致
- エネルギー関連産業への参入促進
- エネルギー関連ベンチャーの事業化促進

エネルギー政策転換を生かした
県内産業の活性化

柱Ⅱ 災害に強く安全で安心してらせるまちづくり

大規模災害や津波、放射能、犯罪、事故などから県民のいのちを守る対策を強化し、安全で安心してらせる神奈川をめざします。

いのちとマグネットの視点

- 子どもたちがいのちを大切にする心を“育む”
- 災害や放射能、犯罪などからいのちを“守る”
- 東日本大震災の教訓を“活かす”
- 安全で安心してらせる地域社会を“創る”
- 災害や犯罪に強いまちを次世代に“継ぐ”



プロジェクト

3 津波被害を軽減する対策の強化

- 津波に関する調査と対策の実施
- 津波避難施設などの整備・確保
- 津波避難情報の提供・伝達の充実

津波から県民のいのちを守る

4 大規模災害などに備える災害対応力の強化

- 災害に強いまちづくり
- 災害時の即応体制の強化
- 東日本大震災で顕在化した課題への対応

大規模災害などから県民のいのちを守る

5 犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり

- 犯罪などの起きにくい環境づくり
- 県民に不安を与える犯罪の抑止・検挙及び交通事故の防止
- 犯罪被害者などへの支援

安全で安心してらせる地域社会の実現

柱Ⅲ いのちが輝き誰もが自分らしくらせる社会づくり

年齢や性別、国籍、障害の有無などにかかわらず、誰もが、ともに生き、支えあい、自分らしくくらすことができるしくみづくりや、県民が安心できる保健・医療体制の整備に取り組み、いのちが輝き、生き生きとくらす神奈川をめざします。

いのちとマグネットの視点

- 医療の先進県として、こころとからだの健康を“守る”
- 病気にならないくらしを“創る”
- 誰もが生きがいを持ってくらしを“楽しむ”
- 年齢・性別・国籍などにかかわらず、お互いに“尊ぶ”



プロジェクト

6 高齢者が生き生きとくらす社会づくり

- 地域包括ケア・認知症ケアの推進
- 高齢者が安心してくらすまちづくり
- 高齢者の健康・生きがいづくり

➡ 高齢者を標準とするしくみづくり

7 県民が安心できる保健・医療体制の整備

- 地域に根ざし開かれた医療の推進
- がん対策の総合的な推進
- 医食農同源など病気にならない取組みの推進

➡ 県民や患者が納得する医療先進県の実現

8 こころといのちを守るしくみづくり

- 自殺対策の総合的な推進
- 精神科医療体制の整備・充実

➡ こころの健康を保持し、いのちを大切に生きがいを持ってくらす社会の実現

9 障害者の地域生活を支えるしくみづくり

- 「すまい」の確保と福祉・医療サービスの充実
- 「いきがい」を高める社会参加や就労の支援
- バリアフリー化の推進など「ささえあい」の環境づくり

➡ 障害者が安心してくらす地域社会の実現

柱Ⅳ 次世代を担う心豊かな人づくり

生き生きと子育てすることができ、すべての子どもが安心して育つためのしくみづくりや、一人ひとりの生きる力を高める教育などに取り組み、将来を担う心豊かな人を育む神奈川をめざします。

いのちとマグネットの視点

- 妊娠から出産までの支援を充実し、神奈川で“生む”
- 社会みんなで協力し、子どもを“育む”
- 虐待やいじめなどから子どもを“守る”
- 子どもの可能性を伸ばし、次世代を“創る”



プロジェクト

13 子ども・子育て応援社会の推進

- 安心して生き、育てるための医療体制の充実
- 出産・育児を応援する環境づくり
- 働きながら子育てできる環境と子どもの居場所づくり

➡ 安心して子育てできる環境の実現

14 子どもの安心のための総合的な支援

- すべての子どものいのちを守る体制づくり
- 支援を必要とする子どもの育ちを保障するしくみづくり
- 子ども・若者の社会的自立を支援するしくみづくり

➡ 子どもの尊厳、いのちを守る

15 明日のかながわを担う人づくり

- 一人ひとりの生きる力を高める学校教育
- 障害のある子どもたちを育む支援教育の推進
- 児童・生徒が学ぶ環境づくり

➡ 豊かな人間性や社会性の育成



かながわ子育て
応援パスポート
イメージキャラクター

10 男女がお互いを尊重しともに活躍できる社会づくり

- 男女共同参画の推進
- 男女がともに働きやすい環境づくり
- 配偶者などからの暴力防止と被害者への支援

→ 男女共同参画社会の実現

11 多文化共生の地域社会づくり

- 外国籍県民がくらしやすい環境づくり
- 神奈川でくらし学ぶ留学生への支援
- 多文化理解の推進

→ 多文化共生社会の実現

12 健康で豊かな人生を築くスポーツ振興

- ライフステージに応じたスポーツ活動
- 誰もがスポーツに親しめるしくみ・場づくり

→ 誰もがスポーツに親しめる社会の実現

柱V 人を引きつける魅力ある地域づくり

自然や歴史、文化、水の恵みなど様々な地域資源を生かし、多様な主体が連携してにぎわいづくりに取り組み、人を引きつけ、何度も行きたくなくなる魅力ある神奈川をめざします。

いのちとマグネットの視点

- 地域づくりの多様な担い手を“育む”
- 自然やまちなみ、豊かな水などを地域活性化に“活かす”
- 何度も行きたくなくなる地域の魅力を“創る”
- 地域自らがまちづくりや魅力づくりを“楽しむ”
- 豊かな水やみどり、自然を“守る”“継ぐ”



プロジェクト

16 地域資源を活用したにぎわい拠点づくり

- 新たな観光の核づくり
- 魅力あふれる城ヶ島の創造
- 湘南江の島の魅力アップ
- 歴史的観光地大山の魅力再発見
- 大涌谷の新たな魅力づくり

→ 地域自らがにぎわい創出に取り組む観光の核づくり

17 行ってみたい神奈川の観光魅力づくり

- 観光客の誘客促進
- 観光まちづくり人材の育成や観光関連産業の活性化
- 商店街を核とした地域の魅力づくり

→ 観光客や観光消費額の増加による地域活性化

18 文化芸術による心豊かな神奈川づくり

- 文化芸術によるにぎわいの創出
- 地域における文化芸術活動への支援

→ 文化芸術を活かした地域活性化

19 NPOの自立的活動と協働の推進

- ボランティア活動の充実に向けた支援
- 多様な主体による新たな協働の推進

→ 多様な主体による協働型社会の実現

20 「水のさと かながわ」づくり

- 水を育み、守る取組みの推進
- 水を活かす取組みの推進
- 水源の保全・再生

→ 水の恵みによる豊かな地域づくり

21 神奈川の自然環境の保全と活用

- 丹沢大山の自然再生と活用
- 里地里山の保全と活用
- 都市のみどりの保全と活用

→ やすらぎやうるおいあるみどりの保全と活用

22 持続可能な環境配慮型社会づくり

- 地球温暖化対策の推進
- 資源循環の推進
- 適正処理の推進

→ 誰もが環境に配慮して行動する社会の実現

柱Ⅵ 神奈川のポテンシャルを生かした活力創出

産業の集積や交通ネットワークなどのポテンシャルを生かし、産業競争力の強化や産業人材の育成、地産地消の推進などに取り組み、活力にあふれる神奈川をめざします。

いのちとマグネットの視点

- 地域経済を活性化し、国際競争力や雇用を“生む”
- 産業を支え、発展させる人材や担い手を“育む”
- 地産地消を地域の活性化に“活かす”
- 交通基盤や社会基盤を次世代に“継ぐ”



プロジェクト

23 競争力の高い産業の創出・育成

- 県内企業の技術高度化・国際化支援
- 成長分野の起業促進
- 企業誘致による研究開発機能の集積促進
- 科学技術の重点的研究の推進

→ 成長産業の集積による県内産業の活性化

24 産業人材の育成と就業支援の充実

- 企業や求職者のニーズに応じた人材育成
- 就業支援の充実
- ワーク・ライフ・バランスの推進

→ 産業を支える人材の育成

25 神奈川を世界にアピールする国際戦略

- 神奈川の特徴を生かした国際交流の推進
- 県内企業の海外展開支援と外国企業の誘致
- 外国人観光客の誘客促進
- 国際戦略総合特区を活用した拠点形成

→ グローバルな人材を生かした国際競争力の向上

26 神奈川の特徴を生かした農林水産業の展開

- 県民の求める「食」の提供の推進
- 県産木材の有効活用の促進
- 水産資源の回復と有効利用の促進

→ 農林水産資源の利活用による地域活性化

27 活力と魅力あふれるまちづくりと交通ネットワークの充実

- 交流と連携を支える道路網の整備
- 交流と連携を支える鉄道網の整備
- 国際競争力の強化に向けた空港政策の充実
- 魅力あるまちづくりの推進

→ 活力と魅力ある県土の形成



「神奈川モデル」を発信します!

県民、NPO、企業、団体、市町村などと情報や目的を共有しながら、神奈川の総力を結集し、全国の先駆けとなる新たな政策をともに創り、「神奈川モデル」として発信します。

「かながわブランドデザイン 実施計画」では、次のような「神奈川モデル」を掲げています。

かながわスマートエネルギー構想の推進

将来にわたり安全・安心なエネルギーを安定的に確保するため、地域において効率的なエネルギー需給を実現する、かながわスマートエネルギー構想を提唱しています。



ビッグレスキューかながわ

大規模災害時の医療支援体制を強化するため、自衛隊医療関係部隊と連携し、DMAT(災害派遣医療チーム)や日本赤十字社など幅広い機関が参加する合同総合防災訓練を継続的に実施します。



医療のブランドデザイン

高齢化の進展による救急患者の増加や医療人材の不足など、様々な医療の課題に対応するとともに、医療の受け手である患者、家族が納得できる医療を推進するため、都道府県初の医療全般にわたるブランドデザインを策定します。

また、情報通信技術(ICT)を活用して、カルテなどの医療情報を患者や病院内外で共有するためのモデル事業などに取り組みます。



医食農同源の推進

医食農同源とは、病気を治療するのも、日常の食事をするのも、ともに生命を養い健康を保つために欠くことのできないもので、源は同じだという考えに、さらに食材等を育てる「農」を取り込んだ健康観です。

この医食農同源を推進し、食生活習慣の改善などの取組みと併せて、若い人も高齢者も、病気にならず元気な健康にさせることをめざします。



「いのちの授業」

地域や学校など様々な場面を通じて、子どもや若者たちがいのちの大切さの学びを深める「いのちの授業」に取り組み、家族、友人など他者への思いやりや自分を大切にすることを育むとともに、いじめ・暴力行為などの防止を推進します。



にぎわい拠点づくり

横浜・鎌倉・箱根に次いで、海外にも強力に発信できる魅力的で新たな観光の核づくりをめざします。

また、地域の特徴ある資源を活用した取組みが自主的に進められている城ヶ島、江の島、大山、大涌谷において「にぎわい拠点づくり」のモデルを創出していきます。



「水のさと かながわ」づくり

神奈川は水と自然に恵まれ、豊富でいつでも安心して飲める水を、県民に提供してきました。

「水のさと かながわ」づくりの取組みでは、湖や河川、滝など豊かな水を活かし、水の魅力を発信する地域づくりに取り組みます。



かながわ国際ファンクラブ

留学生を支援し、神奈川のファンを増やしていくため、留学生支援機能の整備を推進するとともに、神奈川ゆかりの外国人などをネットワーク化する「かながわ国際ファンクラブ」を結成します。



京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区の推進

国際戦略総合特区制度を活用し、世界有数の産業、高度なものづくり技術、最先端の研究開発機関等が集積する京浜臨海部に、ライフサイエンス分野などのグローバル企業を集積し、国際戦略拠点の整備を図ります。

この取組みにより、グローバル企業による新たな医薬品・医療機器の開発・製造や、健康関連産業などを創出し、世界に先駆けて超高齢社会を迎える我が国の課題解決をめざします。



▶ ホームページへのアクセス

この冊子は、「かながわブランドデザイン 基本構想」、「かながわブランドデザイン 実施計画 プロジェクト編」及び「かながわブランドデザイン 実施計画 主要施策・計画推進編」を要約した概要版です。

詳細については、県政情報センター、各地域県政情報コーナーにおいて冊子として閲覧できるほか、次のホームページでもご覧になれます。

かながわブランドデザイン

検索

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f4895/p434921.html>



神奈川県

政策局総合政策部総合政策課

横浜市中区日本大通1 〒231-8588 電話 (045) 210-3061 (直通) FAX (045) 210-8819